

季節の移り変わりの時期をむかえております。

夏から秋へと季節が変わっていく中で、こどもたち精いっぱい園生活を楽しんでおります。夏から秋への移り変わりを、肌で感じながらの生活です。短い秋ですが、一日いちにちを大切にしていきたいです。そして、実りの大きな秋にしたいですね。

「聞く力」の大切さ。

いくら一生懸命教えても聞いてくれなくては何を育ちません。

教師の話しをしっかりと聞く力があるこども集団が自然の力を伸ばすのです！

聞く力を持っていなかったけど、つぼみ組に入り、年少組に入って、その力を身につけてきました。

聞く力は、これから育ちの大きな力になっていきます！

「心の力」です！「学ぶ力」です！

少しむずかしいけど、「聞く力」があるとこどもたち吸収してくれます。そして「学ぶ力」を使って出来るようになります。

「出来た！」「やった！」のよろこびが次への

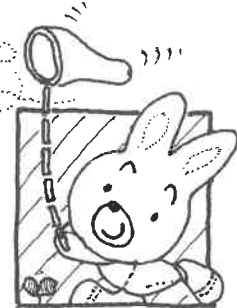
「意欲」を生み出してくれます！

「やる気」の養生です。

決して楽な毎日ではありません。みんなが苦勞を耐えて、苦しいけれど、出来た時は共に喜びます！

みんなで育ち合っているのです！

こどもたちの環境の中で
こどもたちは育っているのです！
たのしみですね♡



入園希望用紙 配布のはじまり！

来週月曜日から幼稚園見学会がはじまり、入園希望用紙の配布もはじまります。9月30日(金)には、希望用紙の受付を致します。

10月1日(土)には「2学期体験入園」です。

「見えないもの」を意識して

(心の育ちシリーズ)

国内線や国際線の客室乗務員として、お客様を笑顔にする為の「おどろなし」の裏面に励んできた、三枝 理枝子さんのお話です。

ある時、羽田から札幌への便の乗務に休む三枝さん。旅行会社のツアーに一人で参加した様子の女性が座席に座った瞬間、両手で胸をすり始めたことに気がきました。「お寒いですか。よろしければこちらをお使いください」その声をかけて毛布を差し出すと、女性は「ありがとうございます」とほほ笑んで、リウマチの持病があって体が冷たいことを打ち明けました。

三枝さんは考えました。機内の温度を上げるには時間がかかる上、他のお客様への影響もある……。そこで思いついたのが、空のペットボトルにお湯を入れ、おしぼり巻いて簡易の湯たんぽを作ることで、早速先ほどの女性に届けると、とても喜ばれたということです。

やがて水平飛行になると、ツアーの添乗員がお弁当を配り始めました。それに合わせて三枝さんたち客室乗務員もお茶を配っていたのですが、皆が食事を始める中で、先ほどの女性だけが弁当に手を付けていませんでした。

体調が悪いのか、おなかが空いていないのか……。そう考える中で三枝さんは「一つの可能性」に思いあたりました。「よろしければ」と言って三枝さんが差し出したのは、プラスチック製のフォーク。すると女性は「えっ、何で分かったのですか。お箸が使えないの。ありがとうございます」と言ってお弁当を開け、おいしそうに召し上がり始めたのです。

誰しも目に見えないものは大切に思えても、見えないものには意識が薄れがちですね。木に例えると、根は土の中に隠れつつ、養分や水を枝葉に送り送っています。

どちらも大切なものですが、根が枯れたら、枝葉も枯れてしまうでしょう。

人の心も同じです。心の力は目に見えないからこそ、意識して養って行く必要があるのではないのでしょうか。

月刊誌 ニューモラル

「心」と「形」より